

第10号議案

平成23年度事業計画(案)

社会福祉法人 熱海市社会福祉協議会

【基本方針】

国勢調査速報によると、市の人口は減少し4万人を割り、世帯数は増加し一層の核家族化が進んでいる事が伺えます。そして、当市の高齢化率は依然として高く、高齢者の悩みに迅速に対応していく事が喫緊の課題と捉えています。

この様な高齢化・核家族化の進む中、認知症に対応する不安は高齢者を中心に大きなものとなっており、県社協は、平成24年度から全市町社協を基幹的社協とし、日常生活自立支援事業の新たな展開を計画しています。

この様な状況を勘案し、熱海市社協においても役割移行がスムーズに進められるよう受入れ体制の整備を進めるとともに、その窓口となる福祉総合相談事業を見直し関連事業との一体性や有効性を高めていきます。

また、核家族化による、高齢者の孤立化や孤独化を防ぐためには、生きがいや仲間づくりが重要なことです。このために社協は高齢者を中心とした地域サロンに取り組んできました。またこの事業は、地域福祉活動計画にある地域で支えあうまちづくりの実現を期待したのもでもあります。

本年度は、地域で支えあうまちづくりを進めるためにも、サロン運営を住民が自主的に行えるよう支援していきます。それには、リーダーやボランティアの役割が重要ですので、地域サロンリーダー養成支援講座やボランティア講座等を開催し、地域住民主体のサロン活動の実現を目指します。

一方、経済環境の改善が見えにくい中、補助金の削減、会費や寄付金等外部からの増収が難しく厳しい財政状況が続いていますが、引続き職員人件費の減額など一層の経費削減を図るとともに、介護保険事業においては介護報酬等の収益改善を図り、財政の健全化を進めます。

本年度は、第2次地域福祉活動計画（19年度～23年度）の最終年度であるので、職員が一層の責任と自覚を持ち目標達成を目指します。

【重点目標】

- 1 「第3次地域福祉活動計画」を策定します
 - ・計画期間は、変化する社会情勢に柔軟に対応するため、3年（平成24年度～26年度）計画とします（前：5年計画）
 - ・市の「総合計画」や「福祉総合計画」との整合性を考慮しつつ、社協の役割や責任を明確にし、誰にもわかり易い計画を策定します
 - ・広範な意見を取り入れる必要があるため、計画策定委員会を設け進めます

- 2 福祉総合相談事業の充実を図ります
 - ・「日常生活自立支援事業」の平成24年度受託に向け、専門職員の育成や社協内の環境整備・意識統一をします
 - ・窓口・電話で対応した相談などの記録簿を整備し、毎月ケース検討会を開きます

- 3 サロン活動の自主運営への移行や実施内容を充実します。
 - ・「地域サロンリーダー養成講座」を開催し、地域サロンのリーダーを育て自主運営を進めます
 - ・サロンごとの特性を生かしたプログラムを策定し実行します

- 4 ボランティア活動の普及を進めます
 - ・ボランティア活動の基礎知識習得のための「ボランティア講座」を開催します
 - ・ボランティアの活動が活発に行われる仕組みを創ります

- 5 効果的な職員研修を実施し資質の向上を進めます
 - ・介護保険3事業合同の研修会を隔月開催し情報の共有化をします
 - ・職員派遣研修（市）を実施し資質・意識の向上を図ります

事業内容

◎第3次地域福祉活動計画の策定

3年計画（平成24年度～平成26年度）を策定します。

4つの柱 1 「ひろめる」

◎広報活動の充実

子どもからお年寄りまで、全ての住民に社会福祉を身近なものと感じてもらえるように広報啓発活動を推進します。

(1) 広報活動の充実

イ 社協だより

年6回組回覧（写真ボランティアの活用をして内容の充実に努める。）

ロ ホームページの充実

(2) 社会福祉大会の開催

◎福祉教育の充実

・地域福祉教育実践校事業の推進（フォローアップ校熱海市社協独自指定校）

網代小学校・初島小中学校 22・23年度

・地域福祉教育連絡会の開催

◎地域福祉推進の充実

・上多賀町内会をモデル地区として指定し、地域福祉推進会の立ち上げに向けて、懇談会を実施する。

・県社協モデル事業地区に指定された西山地区の「地域の福祉力を高め、共に支え合う地域社会を作っていく」ための方法を住民・県社協・熱海市社協とともに考えていきます。

◎社会福祉協議会の基盤強化

・財政の健全化を進めます

・役職員が一体となって会員の増強を図ります

4つの柱 2 「つなぐ」

◎ボランティアセンターの運営

地域の福祉ニーズに対するボランティア、市民活動団体の育成をめざす。

(1) ボランティア育成支援

- ア サマーショートボランティアの開催
- イ ボランティアグループ・団体への相談助言、情報提供
- ウ 熱海市ボランティア連絡協議会への支援
- エ ボランティア養成講座（基礎編）

◎サロン活動

1. 地域サロンリーダー養成支援講座の開催
2. サロンの内容の充実を図る
3. 利用者の増加及び自主運営準備

ア ふれあいいきいきサロン

（住まいのより近くで気軽に参加し、ふれあいを目的に開催）

サロン名	開催場所	実施日
和田木サロン	和田木会館	月曜日（第1・2・3）
小山サロン	小山会館	木曜日（第1・3）
下多賀サロン	下多賀会館	木曜日（第2・4）
上多賀サロン	上多賀会館	金曜日（毎週）
つつじヶ丘サロン	つつじヶ丘集会場	金曜日（第2・4）
紅葉ガ丘サロン	紅葉ガ丘サロン	木曜日（第1・3）
西山サロン	宮西団地集会場	火曜日（第1・3）
おおばサロン（七尾団地）	七尾団地集会場	水曜日（第2・4）

イ フレッシュサロン

(介護予防運動で健康維持とコミュニケーションを図る)

サロン名	開催場所	実施日
フレッシュサロン網代	網代公民館	月曜日 (毎週)
フレッシュサロン南熱海	南熱海マリンホール	木曜日 (毎週)
フレッシュサロン中野	中野公民館	木曜日 (毎週)
フレッシュサロン熱海(午前)	福祉センター (きらら)	木曜日 (毎週)
フレッシュサロン熱海(午後)	福祉センター (きらら)	木曜日 (毎週)
フレッシュサロン熱海(午前)	福祉センター (きらら)	金曜日 (毎週)
フレッシュサロン伊豆山	仲道公民館	火曜日 (毎週)
フレッシュサロン泉	泉公民館	火曜日 (毎週)

ウ はつらつサロン

(市受託事業・・・生きがい活動通所支援事業)

日中、閉じこもりがち高齢者・障害者等の孤独感の解消・生きがいづくりや健康増進を図ることを目的に開催

サロン名	開催場所	実施日
はつらつサロン	福祉センター (きらら)	火曜日 (毎週)
はつらつサロン	福祉センター (きらら)	水曜日 (毎週)

エ スタッフ派遣事業

- ・笹良ガ台老人クラブ (年4回)
- ・西熱海町内会有志 (年6回)

◎高齢者料理教室の開催 (年6回開催)

時期にあった旬の素材を使って季節を感じながら調理を行う。

◎若年層の仲間づくりプログラムの推進

熱海高校と学童保育多賀っ子との交流の輪を広げる。

4つの柱 3 「つかむ」

◎ふれあい福祉相談センター事業

- ア 福祉総合相談窓口の充実を図ります
月～金曜日、9：00～17：00
- イ サロン活動を活用して、民生委員と協力・連携し、住民の課題の早期に努めます。

◎当事者団体への協力

- ア 在宅介護者の会の育成及び活動支援
- イ 民生委員児童委員活動との協働

4つの柱 4 「そなえる」

◎援護事業

- (1) 資金貸付相談
 - (ア) 生活福祉資金
 - (イ) 臨時特例つなぎ資金
 - (ウ) 小口資金貸付
- (2) 障害者への支援活動
 - (ア) 関係団体への協力と援助
- (3) 児童への支援活動
 - (ア) 関係団体への協力と援助
 - (イ) 子育てサロンとの連携

◎介護保険事業の運営の安定化とサービスの質の向上

「居宅介護支援事業・居宅介護等事業・通所介護事業」

- (1) 利用者やその家族の考え方をよくお聞きし、真に喜ばれるサービスを提供します
- (2) 一人ひとりの利用者に誠意をもって接し信頼される事業所を目指します
- (3) サービスの質の向上を図るため、職員研修の強化、資格取得支援を行ないます
- (4) 安定した経営を目指し、利用者の増員など積極的に取り組みます
- (5) 利用者や家族の皆さんにアンケートをお願いし、改善点を深るとともに、新たなニーズを掘り起こしサービスの向上を進めます

◎災害時における支援体制の整備

災害時支援マニュアルに基づいた災害ボランティアセンターの設置訓練を実施する。

(1) 災害ボランティアセンターの体制整備

- ア 災害ボランティアに関する広報啓発
- イ 災害ボランティアセンター設置訓練の実施
- ウ 行政等関係機関との連携強化

◎その他事業

(1) 共同募金運動（赤い羽根募金） 10月1日～12月31日

市民、町内会長連合会、民生委員児童委員協議会、市内小中学校、各企業をはじめ、福祉諸団体に協力依頼。

(2) 歳末たすけあい運動 12月1日～12月31日

一人暮らしのお年寄りや低所得者世帯の方々が、明るいお正月を迎えられるように市民、町内会長連合会等に募金の協力依頼。

(3) 歳末たすけあい見舞金の配分

市民に公募し、低所得者家庭の年越資金、低所得者家庭の児童の学用品代・入学支度金を民生委員児童委員の協力を得て配布。

(4) 熱海市老人クラブ連合会事務局

(5) 熱海市ボランティア連絡協議会事務局

(6) 熱海市在宅介護者の会事務局の自主運営準備